

いま知りたい 新型コロナウイルス 感染症

監修

感染症専門医

忽那 賢志 先生



いま知りたい 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスとは？ p3

- ・感染と増殖

新型コロナウイルス感染症について p4

- ・主な症状は？
- ・まわりの人にうつしてしまう可能性は？

重症化について p5

- ・重症化しやすいのはどんな人？
- ・重症化を予防するには

後遺症について p6

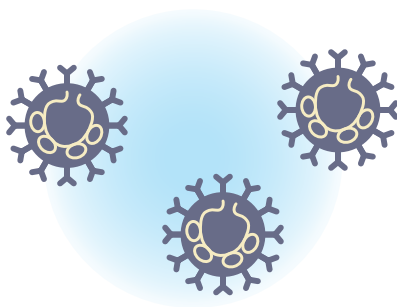
- ・主な症状は？
- ・後遺症を発症しやすいのはどんな人？

新型コロナウイルス感染症への対処法 p7

- ・主な治療法は？
- ・発症した後の対応

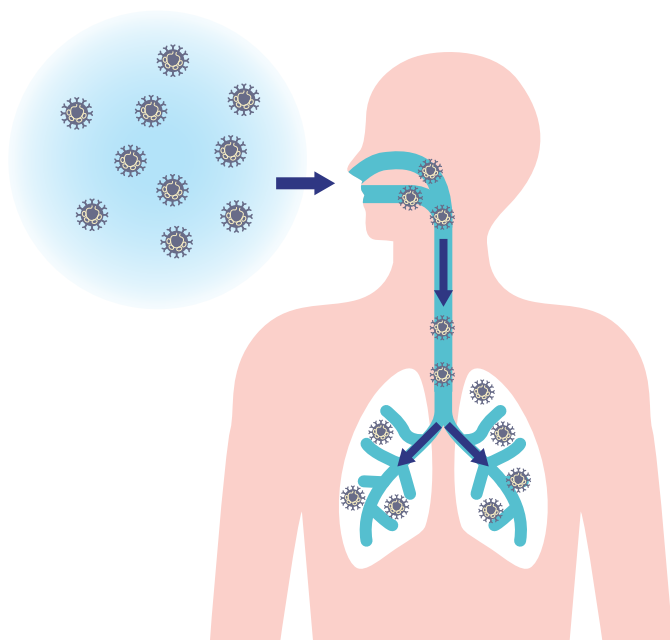
新型コロナウイルスとは？

新型コロナウイルスは、コロナウイルス科に分類されるウイルスの1つで、いわゆる風邪や重症急性呼吸器症候群（SARS）のウイルスもその仲間です。人間に感染する7種類目のコロナウイルスとして新たに発見されました。



感染と増殖

主に鼻や口から入って粘膜などの細胞の中に侵入し、免疫細胞による攻撃を逃れながら増殖していきます。



新型コロナウイルス感染症について

主な症状は？

新型コロナウイルス感染症は、発熱や倦怠感、咳などの自覚症状があらわれることで感染の可能性が疑われます。オミクロン株では多くの場合、ウイルスに感染してから2～3日で症状があらわれます。よく見られる症状としては次のようなものがあります。

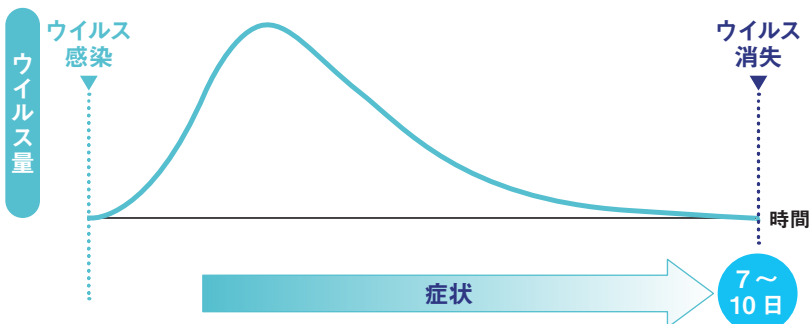
新型コロナウイルス感染症の主な症状

- | | | | |
|--------|-------|------|------------|
| ・発熱 | ・咳 | ・頭痛 | ・筋肉痛 |
| ・鼻みず | ・痰 | ・下痢 | ・においがわからない |
| ・鼻づまり | ・息苦しさ | ・嘔吐 | ・味がわからない |
| ・のどの痛み | ・だるさ | ・関節痛 | など |

まわりの人にうつしてしまう可能性は？

発症後3日間はウイルスが増殖しつづけますが、5日経過したころから減少しはじめます。そして、発症から7～10日程度たつとウイルス量は大幅に低下し、体外に排出するウイルスの量が減るため、周囲に感染させるリスクも小さくなります。

新型コロナウイルス感染からウイルス消失まで（イメージ図）

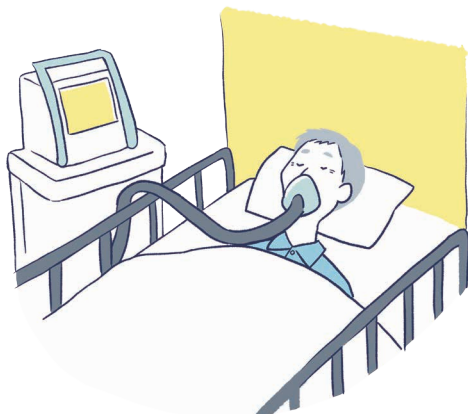


参考文献

- ・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き第10.1版. 2024. [<https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>] (閲覧日: 2024年5月29日)
- ・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症に関するQ&A (一般の方向け). 令和5年5月10日. [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-3] (閲覧日: 2024年5月29日)
- ・Nakakubo S, et al. Lancet Infect Dis. 2023 ; 23 : 1244-56.

重症化について

感染しても多くの患者さんは無治療、あるいは適切な治療ののちに回復しますが、症状が重症化して入院や集中治療が必要になったり、呼吸困難を訴え酸素投与を受けたりする人もいます。



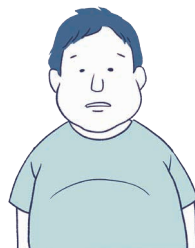
重症化しやすいのはどんな人？

65歳以上の高齢、基礎疾患、肥満などが重症化のリスク因子として報告されています。

これらの因子を多く持っている人ほど重症化しやすく、また女性よりも男性のほうが重症化しやすいこともわかっています。



65 歳以上の高齢



肥満



糖尿病

重症化を予防するには

重症化予防を目的として、2024年度からは65歳以上の高齢者と60～64歳の対象となる方^{※1}に、年に1回のワクチン定期接種が実施されます^{※2}。

また、一部の抗ウイルス薬には発症早期にウイルス量を減らすことで重症化を予防する効果が報告されています。

※1 心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能の障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方。

※2 原則、各自治体で設定された自己負担額がかかります（低所得者を除く）。

参考文献

- ・厚生労働省、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き第10.1版、2024。
[<https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>] (閲覧日: 2024年5月29日)
- ・厚生労働省、新型コロナウイルスワクチンQ&A。
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html#1] (閲覧日: 2024年5月29日)
- ・Chawla A, et al. Clin Pharmacol Ther. 2023 ; 113 : 1337-45.

後遺症について

感染後、少なくとも2ヵ月以上症状が続き、感染性が消失した後も他の疾患による症状として説明がつかないものを後遺症と呼んでいます。通常は、発症から3ヵ月経った時点にも見られます。

目安として1ヵ月以上症状が続いていたり、新たな症状があらわれたりする場合は後遺症の可能性が疑われます。



主な症状は？

倦怠感、思考力や注意力が低下するブレインフォグ、息苦しさ、咳、睡眠障害、脱毛などがよく見られます。



ブレインフォグ



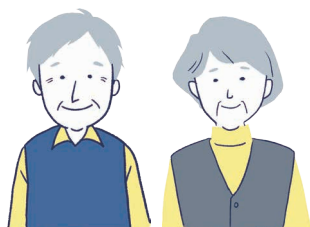
咳



睡眠障害

後遺症を発症しやすいのはどんな人？

高齢、女性、新型コロナウイルス感染症の症状が重かったことなどが、後遺症発症のリスク因子として報告されています※。



高齢



女性



感染後の重い症状

※さまざまな報告があり、上記に該当しない方でも注意が必要です。

参考文献

・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント第3.0版. 2023.
[<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001159335.pdf>] (閲覧日: 2024年5月29日)
・Tsampasian V, et al. JAMA Intern Med. 2023; 183: 566-80.

新型コロナウイルス感染症への対処法

主な治療法は？

ウイルス量を早期に下げることが大切です。症状が重い場合は早めに治療しなければならないのはいうまでもありませんが、軽症の場合でも高齢者や基礎疾患のある人は重症化や後遺症の予防の観点から、できるだけ早くウイルスを減らす治療が重要と考えられます。

主な治療法

対症療法

発熱や咳などのつらい症状を抑える治療法です。
ウイルスを減らす効果はありません。

- ・ 解熱剤
- ・ 鎮咳剤 など

抗ウイルス薬

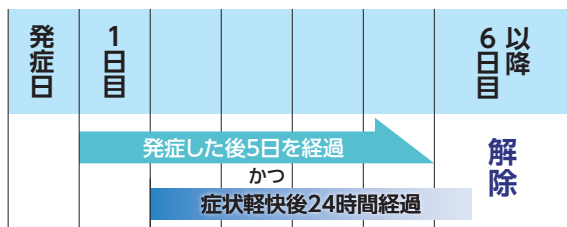
症状の原因であるウイルスを減らす薬で、
より早く症状を和らげることが期待されます。

- ・ 経口剤
- ・ 注射剤 など

発症した後の対応

まわりの人にうつしてしまわないように配慮し、発症してからの5日間と、
症状が軽快した後の24時間は外出を控えることが推奨されています。

参考：新型コロナウイルス感染症後の登校・外出について（学校保健安全法）

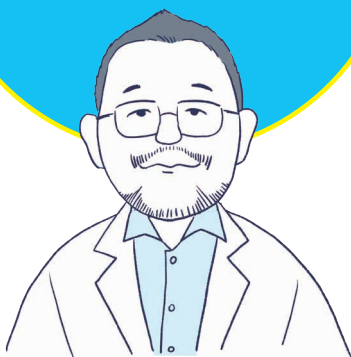


出席停止の期間は、
各学校・園によっても
異なりますので、
詳しくは、各学校・園に
お問い合わせください。

参考文献

- ・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き第10.1版. 2024.
[<https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf>] (閲覧日: 2024年5月29日)
- ・厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について.
[<https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.html>] (閲覧日: 2024年5月29日)

早めの
診断・治療が大切です
不安があれば、
医師にご相談ください



SHIONOGI

塩野義製薬株式会社

®:登録商標
XCV-C-0021 (V02) 審736400
2024年6月作成